



ほけんだより



松山市役所 保育・幼稚園課
平成 27 年度 第 6 号

暑い夏をエネルギッシュに過ごした子どもたちは、そろそろ夏の疲れが出る頃です。

9月9日は救急の日。子どもたちがけがをしてしまった時、落ち着いて対処できるよう、基本的な知識を身につけておきましょう。



すり傷の応急手当て



①傷口を流水で洗う

強くこすらないように注意し、傷口の泥や砂を水道の流れる水でよく洗い流しましょう。



②出血があれば止血する

清潔なガーゼを厚めに重ね、血の出ている部分を少し強く押し当てて止血しましょう。



③傷口を乾燥させない

ワセリンを塗るなど、傷口を乾燥させないようにしましょう。



こんなときには



★顔の深いすり傷

顔から転ぶなどして、目の周辺や顔などに傷が残るようなときは、念のため外科や眼科を受診しましょう。

★感染症が心配な場合

特に、どぶ川など不衛生なところでけがをした時のすり傷は、細菌が入ることもあるので要注意です。

★すり傷のほかに打撲もある場合

転んだ拍子に強く打っているかもしれない、冷やしても腫れが引かない、いつまでも痛がる等の場合は、外科か整形外科を受診しましょう。

★土や石、ガラスが傷口に入って取れない場合

流水でも取れない場合、無理に取ろうとしたり、強くこすったりすると、かえって危険なこともあります。速やかに外科を受診しましょう。

★いつまでも痛がる場合

きれいに洗ったつもりでも、傷の中にガラスや石が残っていることもあります。また、目には見えない打撲や、骨に異常がある場合もあるので、外科を受診しましょう。

夜間の子どもの急な病気などで困ったとき
どうしていますか？



小児救急医療電話相談 #8000へ

そんな時は、小児救急医療電話相談を利用することができます。

ここでは、小児科の医師・看護師への電話相談ができます。「救急へ連れて行くべきか」「明日まで様子を見ても良いのか」など判断の参考としてください。医療機関を紹介された場合は、電話をかけてから受診しましょう。松山市のホームページにある「こども救急ガイドブック～かかりつけ医がお休みのときに～」も参考にしてください。

【電話番号】 固定電話プッシュ回線・携帯電話からは「#8000」
ダイヤル回線などは「089-913-2777」

【利用時間】 19時から翌朝8時まで